L'aile d'Howl

【ライル・ドウル：ホウルの翼（仏語）】

2013 年 10 月号

東京国体にて少年男子が優勝!!　春の全国高校選抜大会の優勝に続く二冠を達成！岩手ハンドボール界の歴史に大きな一歩が刻まれました☆

No.88

県高校秋季大会☆新人戦に向けた大きな一歩！

9 月最終週の土日、第 6 回県高校秋季大会が開催されました。県高校新人戦の組み合せを決める大事な大会、例年どおり男女とも 1 部・2 部に分かれて予選を戦い、入れ替え戦を経て、ベスト 8 のチームが決定します。新チームとなって初めての公式試合に高校生たちが奮闘しました。

男子の一戦で注目を集めたのは不来方 VS 盛岡南。不来方高は、国体出場メンバーを控えた陣容。盛岡南高はこのチャンスを逃すまいと必死に食い下がります。一進一退の展開が終盤まで続き、試合はついに同点のまま残り 1 分。ラスト 15 秒、タイムアウト後の盛岡南最後の攻撃は左 45 度からサイドへのスカイプレー！このシュートが決まり、盛岡南が歓喜の勝利を収めました。準決勝で盛岡中央高を破った盛岡一高が決勝へ進み、決勝戦では前半を 4 点リードで折り返した盛岡南が後半も点差を広げ、26－18 で試合終了。新チームにとって大きな自信となる優勝を収めました。なお、花巻北高と盛岡三高が入替戦で勝利し、1 部に返り咲きました。

一方女子の部ですが、こちらも不来方高が思わぬ苦戦を強いられます。準決勝で対戦した盛岡二高とは、序盤から一進一退の攻防が続きます。点差が離れず、盛岡二高が 1 点リードで前半を折り返しますが、後半 1 点を守りきった不来方が 20－19 で辛勝しました。決勝戦は、夏の高総体と同じ顔合わせとなった白百合高との試合。一矢報いたい不来方は、前半 1 点リードするも後半同点に追いつかれ、ついに延長戦に突入。延長戦前半で勝負がつかず、後半 1 点のリードを死守した不来方高がなんとか 19－18 で勝利。しかし、盛岡二高、白百合ともに実力差はほとんどなく、三つ巴の戦いとなる模様。県高校新人戦で勝ちあがるのはどのチームなのか、非常に楽しみです！

なお、入替戦では花巻南高が 1 部に復帰しましたが、その一方で残念ながら花巻北高が 2 部降格となってしまいました。本番の県新人戦までに更に力をつけて、巻き返しを図ってほしいですね！

祝二冠達成☆少年男子岩手県選抜が東京国体制覇!!

ついにやりました!!　10 月 3 日～7 日まで東京都で開催された第 68 回国民体育大会少年男子の部において、岩手県選抜が頂点に立ちました！国体では県勢初の優勝！春の全国高校選抜大会の優勝に続き、2 冠を達成しました！それでは優勝の軌跡を振り返りましょう！

初戦の相手はなんと福井県代表・北陸高。2 年連続全国選抜大会の決勝で戦った相手と、運命の対戦を迎えることになりました。前半先制すると、序盤でリードを広げ、前半 7 分で 5－1。その後福井も速攻で得点を狙いますが、再三に渡り DF がよく戻って阻止。前半を 5 点差で折り返すとそのままリードを保持し、26－21 で勝利しました。後半は両 GK のナイスセーブが光った試合でした。

準々決勝は岐阜県との試合。前半は岐阜に先行を許しますが、随所に遠藤 GK のナイスセーブとスカイプレーなどを織り交ぜた攻撃で、9－9 の同点で後半に突入します。後半は庄治直志選手の速攻などで一時リードしますが、岐阜も必死に追い上げを図り後半 16 分で同点になります。しかし、終盤に入り岐阜のミスが続くと岩手がリードを保ち、22－20 で辛勝しました。

迎えた準決勝、インターハイ優勝の沖縄県を破って勝ち上がったのは前年度優勝の山口県。全日本ユース代表のエース･徳田新之介選手を擁する山口との試合は、岩手が先制するもすかさず同点とし、均衡が破れた10分過ぎから山口が一歩リード。しかしポスト、サイドと多彩な攻めで、前半20分同点に追いつきます。山口が再度リードするも激しい攻防の中、13－13の同点で前半を終了します。後半、積極的に前に出るDFを敷く山口に対し、岩手はパスワークで応戦。後半中盤に3連取すると、その後は山口に流れを譲らず10分間無得点に抑える素晴らしいDFを展開します。終盤山口はマンツーマンDFから4連取し2点差まで詰め寄りますが、27－23で岩手がリードを死守し、優勝に王手をかけます。

県勢初の少年男子決勝戦。対する相手は強豪･香川中央高を中心とする香川県。安倍竜之介選手の先制点で幕が開けますが、互いの好DFによりロースコアで試合がスタートします。前半中盤、山﨑純平選手（花巻クラブジュニア→花巻北中→不来方高）の得点を含む連取で岩手がリードを奪うと、遠藤GKのナイスセーブもあり、13－7と岩手が先行して前半を終えます。後半、岩手はセットプレーから先制するとそのまま徐々に得点差を広げ、後半9分20－8と大きくリードします。香川はタイムアウト後に連取し、一時7点差まで詰め寄りますが、岩手は堅いDFと相手を研究し尽くした遠藤GKの好セーブが功を奏し、後半25分で24－18と優勝をほぼ決定づけます。最後は28－21で試合終了。ついに岩手が国体を制した瞬間を迎えました！今大会、周りを活かすことに終始した安倍選手は、自分が決めるとの決意で臨んだ決勝では10得点の大暴れ。相手のシュートを研究し、岩手ゴールの守護神となった遠藤GKの活躍も非常に印象的でありました。

今回、ただ一人盛岡一高から選抜入りした藤原竜郎選手（リトルハンド→松園中）も、他の選手へのマークが厚くなる中得点を挙げるなど随所で活躍し、優勝に大きく貢献しました。少年団からハンドボール競技を始めたメンバーが非常に多く、小中高と一貫して選手を育成してきた岩手ハンドボール界の大きな成果がここに証明されました。3年度に開催される希望郷いわて国体に向け、大きな自信となる素晴らしい勝利でした！優勝本当におめでとう、そして感動をありがとう！（試合の模様は、公式戦評を参考にさせていただきました。ご了承ください）

県社会人リーグは花巻クラブが 1 部優勝!!

10月14日を持ちまして、今シーズンの岩手県社会人リーグの全日程が終了しました。男子1部ではなんと！我が花巻クラブが6勝1敗の成績で久々の優勝を果たしました!!　今シーズンは選手数名が他チームへ移籍したため、やや不安なスタートを切りましたが、代わりに帰郷した若手や高卒ルーキーが加わり、新たな布陣で試合に臨むことができました。来シーズンもまた好成績を残せるように頑張っていきたいものです！

なお、男子2部では白亜クラブが優勝し1部へ昇格。代わりに鵬クラブが2部降格となりました。また、男子3部Aリーグでは、ガンバ花クラが全勝優勝。3部Bでは三ツ石クラブが1位となりました。女子リーグでは、白梅三英芙会が不来方クラブとの直接対決を制し、優勝の栄冠に輝きました。

なお、女子･花巻クラブは第5位（1勝4敗）で今シーズンを終えました。

L'aile d'Howl (ライル･ドゥル)
2013 年 10 月号
2013 年 10 月 25 日　発行
発行：花巻市ハンドボール協会
Special thanks to: リトルハンド様、多摩市実行委員会様